

第9章 鎌倉市環境教育行動計画

1 環境教育（目標項目⑯）

目標：意欲的に環境保全に取り組む人を育てます。

◆基本方針

- 持続可能な社会の形成に向けた環境教育を推進します。
- 自ら行動しようとする「こころ」を育てます。

持続可能な社会を構築していくためには、すべての人が様々な場所で環境保全に向けた実効性のある取組を実践することが必要であり、このためすべての人を対象とした環境教育の充実が不可欠であることから、平成15年(2003年)に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律(平成15年法律第130号)」が制定され、平成23年(2011年)度には協働取組の推進等を盛り込み、題名を「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」として改正されました。

自然的環境と歴史的環境に恵まれた本市では、環境に対する市民の意識が高く、幅広い分野で市民による自発的な環境保全活動が行われています。

本市では、平成19年(2007年)に「鎌倉市環境教育推進計画」を策定し、また平成27年(2015年)度には持続可能な開発のための教育(ESD)の趣旨を反映するなどし、「鎌倉市環境教育行動計画」として改めて策定しました。本市ではすべての人が身近な環境から国や世界、将来世代の環境を意識して行動できることを目指した環境教育を推進しています。

目標を達成するための取り組み

第1節 ライフステージに応じた環境教育の実施

環境教育は継続的に行うことや、年齢・ライフステージに応じて取り組んでいく必要があるため、環境問題に関心を持つための情報提供や学習会等の実施を推進し、環境保全に対する知識の増進及び知識の芽の育成に取り組めます。

| 主な事業 | 事業内容 | 実績 |
|-----------------------------------|--------------------------------------|--|
| 夏休み子ども向け自然観察会(少年期) 【環境政策課】 | 環境保全の普及啓発のため、夏休み子ども向け環境学習会を開催します。 | 令和2年度(2020年度)においては、新型コロナウイルスの影響により実施はなし。 |
| 出前講座(少年期) 【環境保全課】 【ごみ減量対策課】 | <環境保全課> 小中学校の児童生徒を対象に、大気汚染やエネルギーの | <環境保全課> ○酸性雨出前講座 実施なし |

| | | |
|--|--|---|
| | <p>有効活用等、環境についての講義を実施します。</p> <p><ごみ減量対策課> 市内保育園、幼稚園や小中学校の児童生徒を対象に、ごみの減量・資源化の啓発等についての講座を実施します。</p> | <p>○水生生物等環境調査</p> <p>令和2年度(2020年度)においては、新型コロナウイルスの影響により実施はなし。</p> <p>令和元年度(2019年度)実績:参加校:1校、参加人数:67名</p> <p><ごみ減量対策課> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面式の出前講座は実施を見合わせました。</p> <p>紙芝居の資材貸出、オンライン形式で使い捨てプラスチックの削減について等の環境教育を行いました。</p> |
| <p>下水道に関する啓発活動の実施(少年期以上)</p> <p>【下水道経営課】</p> | <p>下水道事業への理解や普及の促進維持活動の充実を図るため、PR事業を実施します。</p> | <p><下水道経営課></p> <p>・市が独自に作成した下水道啓発ポスターを、鎌倉市立の小中学校25校及び4支所等に掲示した。</p> |
| <p>農業体験事業の実施(少年期から高年期)</p> <p>【みどり公園課】 (指定管理者) 【環境政策課】</p> | <p>アドバイザーの派遣や都市公園での農業体験を実施します。</p> | <p>鎌倉中央公園において、(公財)鎌倉市公園協会と「山崎・谷戸の会」が協働して自然や農業に対する理解や関心を深めるため、市民を対象に農業体験を実施しました。</p> <p>田んぼ体験(4月4日～3月14日)は延べ485人、畑体験(4月16日～3月17日)は延べ206人の参加者がありました。</p> |
| <p>食育に関する啓発活動の充実(少年期から高年期)</p> <p>【市民健康課】</p> | <p>食品廃棄物の発生抑制や再生利用等の環境にやさしい「食」生活を推進します。</p> | <p>食に関する講座において、食べ残しをしないように声かけの実施、また、片付けの際にはウエスやアクリルたわしを使用をする予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、講座開催が中止となったため、実績なしとなりました。</p> |
| <p>緑の学校(青年期)</p> <p>【みどり公園課】</p> | <p>緑の効用や仕組みへの理解を深めるため、講義や自然観察会を実施します。</p> | <p>新型コロナウイルス感染症に伴う影響により開催しなかった。</p> |
| <p>緑のカーテン栽培講座(全年代)</p> <p>【環境政策課】</p> | <p>市民を対象にゴーヤ苗を育てて緑のカーテンを作る講座を実施し、緑化の効力を学び緑のカーテンを広めます。</p> | <p>令和元年度(2019年度)で終了しました。</p> |

●環境保全に関する作品コンクール

＜環境保全課・みどり公園課・下水道経営課＞

夏休みの自由研究として、平成7年度（1995年度）から毎年、市内の小学校4～6年生と中学生を対象に環境保全に関するポスターの「作品コンクール」を実施しています。

令和元年度（2019年度）は「緑」（小学生4～6学年、中学生対象）と「まちの美化」（中学生対象）という二つのテーマで実施しました。応募作品（ポスター）は、緑に関するものが198点、まちの美化に関するものが211点で、その中から「緑」では28点、「美化」では26点が優秀作品として選ばれました。

小中学生及び一般の方を対象に9月10日の「下水道の日」にちなみ、公益社団法人日本下水道協会及び(株)日本水道新聞社主催で、「下水道いろいろコンクール」が実施されました。

鎌倉市下水道週間の取り組みとして、小学生から大人までを対象に下水道の役割を知っていただくために市が独自に作成した、ポスターを鎌倉市立の小中学校25校及び4支所等に掲示しました。

●環境保全関連講座の開催

＜青少年課・生涯学習課＞

市民や青少年を対象に、環境保全に関心を持ってもらうため、表9-1のとおり講座を開催しました（一部の講座は新型コロナ感染症拡大予防のために開催を中止しました）。

表9-1 環境保全関連講座開催状況

| 講座名 | 開催期日・主催 | 参加者数 |
|--|--|------|
| かながわ子ども教室 まわれ浮沈子 (オンラインプログラム) | 令和2年9月16日(水) 放課後子どもひろばふじづか・ふじづか子ども家「かなりや」 | 30人 |
| 私たちと水～お水の実験をしよう！ | 令和2年10月21日(水) 放課後子どもひろばふかさわ・ふかさわ子ども家「すずめ」 | 29人 |
| 宇宙教室(オンラインプログラム) | 令和2年12月16日(水) 放課後子どもひろばいなむらがさき・いなむらがさき子ども家「いなほ」 | 33人 |
| たのしい科学教室 「ひかりと色」 ー太陽の光はどんな色でできている？ー | 令和2年12月16日(水) 放課後子どもひろばおなり・おなり子ども家「こぼと」 | 28人 |
| 私たちと水 | 令和2年12月23日(水) 放課後子どもひろばしちりがはま・しちりがはま子ども家「なみのね」 | 20人 |
| 光と色の実験～ブンブンこまを作ろう！ | 令和2年12月24日(木) 放課後子どもひろばふかさわ・ふかさわ子ども家「すずめ」 | 21人 |

| | | |
|--------------|--|-----|
| 楽しい科学教室 〈気象〉 | 令和3年3月30日(火) 放課後子どもひろばにかいどう・にかいどう 子どもの家「めだか」 | 25人 |
| 海洋プラスチックごみ問題 | 令和3年2月 腰越学習センター | 中止 |
| 海洋汚染と地球深部調査 | 令和2年12月 大船学習センター | 中止 |

●消費生活移動教室の開催

<地域共生課>

食の安全や住生活などの身近な消費生活に関する事柄をテーマに取り上げ、学習の場を提供しています。なお、令和2年度(2020年度)は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送ることとしました。

●学校における環境教育の取組

<教育指導課・環境政策課>

身近な自然環境や生活環境等に興味を持ち、環境保全に対する認識を深めたり、行動力等を身に付けたりするという、いわゆる「生きる力」の育成に視点を置きながら、地球環境の問題や、リサイクル、ごみ問題などをテーマにして、市内小・中学校において、総合的な学習の時間での環境教育・学習の充実を図っています。※牛乳パックのリサイクルについては、小・中学校全校で実施していましたが、令和2年度(2020年度)はコロナ禍により実施していない学校もあります。

表9-2 公立小・中学校における環境教育の取組

| 学 校 名 | 内 容 | 学 年 |
|-------|-----------------------|------|
| 第一小学校 | 海・野山で自然と触れ合う | 1～3年 |
| | 稲、野菜、花の栽培 | 全学年 |
| | 環境学習(ごみとリサイクル) | 全学年 |
| 第二小学校 | 稲、野菜、花の栽培 | 全学年 |
| | 環境学習(ごみ問題・リサイクル・水の学習) | 4年 |
| | 環境学習(ゴミの分別) | 全学年 |
| | 地域の自然調査 | 3年 |
| | 稲の栽培 | 5年 |
| 御成小学校 | 環境学習(ゴミの分別) | 全学年 |
| | 環境学習(ペットボトルキャップリサイクル) | 全学年 |
| | 環境学習(リサイクリエーション) | 4年 |
| | 野菜・花の栽培 | 全学年 |
| | 自然との触れ合い | 1・2年 |
| | 水の学習 | 4年 |
| | 稲の栽培 | 5年 |
| | 生物の飼育 | 5年 |

| 学 校 名 | 内 容 | 学 年 |
|---------|---------------------------------|----------|
| 稲村ヶ崎小学校 | 稲・野菜の栽培 | 1～5年 |
| | 生物の飼育 | 2・3年 |
| | 環境学習（ごみ） | 6年 |
| 七里ガ浜小学校 | 生物の飼育、稲・植物の栽培と収穫 | 全学年 |
| | 広町の自然と触れ合う | 1～6年 |
| | 環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習） | 4年 |
| 腰越小学校 | 稲・野菜・花の栽培 | 全学年 |
| | 生物の飼育 | 3年 |
| | 上下水道について | 4年 |
| | 環境学習（海・ごみ・温暖化） | 5年 |
| 深沢小学校 | 稲・野菜・草花の栽培と収穫 | 全学年 |
| | 自然とのふれあい、観察 | 1～3年 |
| | 環境学習（ごみと水問題） | 4年 |
| | 人と環境 | 6年 |
| | 谷戸の活動 | 5年 |
| 小坂小学校 | 稲の栽培・谷戸の活動 | 3年・5年 |
| | 野菜の栽培・収穫 | 1・2年・若竹級 |
| | 湧き水・水の学習 | 4年 |
| | 環境学習（SDGs） | 2・5年 |
| 玉縄小学校 | 稲・野菜・花の栽培 | 全学年 |
| | 環境学習（出前授業・水問題） | 4年 |
| | 水・森林の学習と調べ学習 | 4年 |
| | 漁業（資源問題と調べ学習） | 5年 |
| 山崎小学校 | 地域の自然観察 | 全学年 |
| | 稲・野菜の栽培 | 全学年 |
| | 生物の飼育（カイコの飼育） | 3年 |
| | 環境学習（ごみ問題・水） | 4年 |
| 西鎌倉小学校 | 稲・野菜・花の栽培 | 1・2・3・5年 |
| | 自然との触れ合い・観察 | 1・2年 |
| | 生物の飼育 | 3年 |
| | 環境学習（宮ヶ瀬ダムほか・浄化センター・クリーンセンター見学） | 4年 |
| 今泉小学校 | 野菜・花の栽培 | 全学年 |
| | 自然との触れ合い・観察 | 1・2年 |
| | 環境学習（寒川浄水場他見学、水・ごみの調査・学習） | 4年 |
| | 環境学習（出前授業・稲（米）について） | 5年 |

| | | |
|--------|------------------------|----------------|
| 富士塚小学校 | 稲・野菜・花・へちま栽培 | 全学年 |
| | 植物栽培、畑づくり | 1・2・3・6年 |
| | 中央公園の自然と触れ合う | 1～3年 |
| | 環境学習（水・ごみの調査・学習） | 4年 |
| | 谷戸の活動 | 5年 |
| 関谷小学校 | 関谷川（水質調査）環境学習 | 6年 |
| | 野菜、花の栽培 | 全学年 |
| | 地球の環境について（絶滅危惧種等） | 4～6年 |
| | 生物の飼育 | 3年 |
| 大船小学校 | 野菜・花の栽培 | 全学年 |
| | 環境学習（水について） | 4年 |
| | 稲（米）について | 5年 |
| 植木小学校 | 稲・野菜・花の栽培 | 1～5年 |
| | 地域の自然観察 | 1～3年 |
| | 環境学習（ごみ・水・リサイクル・エネルギー） | 4～6年 |
| 第一中学校 | 作物の栽培 | 特別支援級 |
| | 防災学習（逃げ地図・避難所体験・地域調査） | 全学年 |
| 第二中学校 | 自然とふれあう体験活動 | 2年 |
| | 作物の栽培 | 特別支援級 |
| 御成中学校 | 南斜面の整備 | 科学部 |
| | 野菜の栽培 | 科学部 |
| 腰越中学校 | 海や川の清掃（感染予防のため中止） | 全学年 |
| 深沢中学校 | 校地緑化活動 | 全学年 |
| | 作物の栽培 | 特別支援級 |
| 手広中学校 | 環境新聞づくり | 1年 |
| | 学校緑化 | 全学年 |
| 大船中学校 | 「郷土」をテーマとする調査・体験活動 | 全学年 |
| 玉縄中学校 | 自然とふれあう体験活動（感染予防のため中止） | 2年 |
| 岩瀬中学校 | 野菜の栽培 | 1年 |
| | 作物の栽培 | 特別支援級 自然科学部 |

| | | | |
|-----|-----------------------|-----------|-----------|
| 学校名 | 横浜国立大学教育学部 附属鎌倉小学校 | 学校長 池田 敏和 | 担当者 望月・宮島 |
|-----|-----------------------|-----------|-----------|

取組状況

本校の食育は、健康と地球環境に配慮した給食を児童の学習と繋がりを持ちながら推進しています。

■持続可能な食材の選択

調味料や乾物類は、オーガニック・フェアトレード・昔ながらの伝統製法で作られたものを中心に使用しています。毎月1回程度、県内産の「有機野菜」を使用したり、平塚漁港で水揚げされた「未利用魚」を使用したりしています。



■教材としての給食

学習内容に合わせた献立や食材を使用する工夫をしています。



6年生国語：世界に向けて意見文を書く学習で、フェアトレードの食材を使い給食を提供しました。

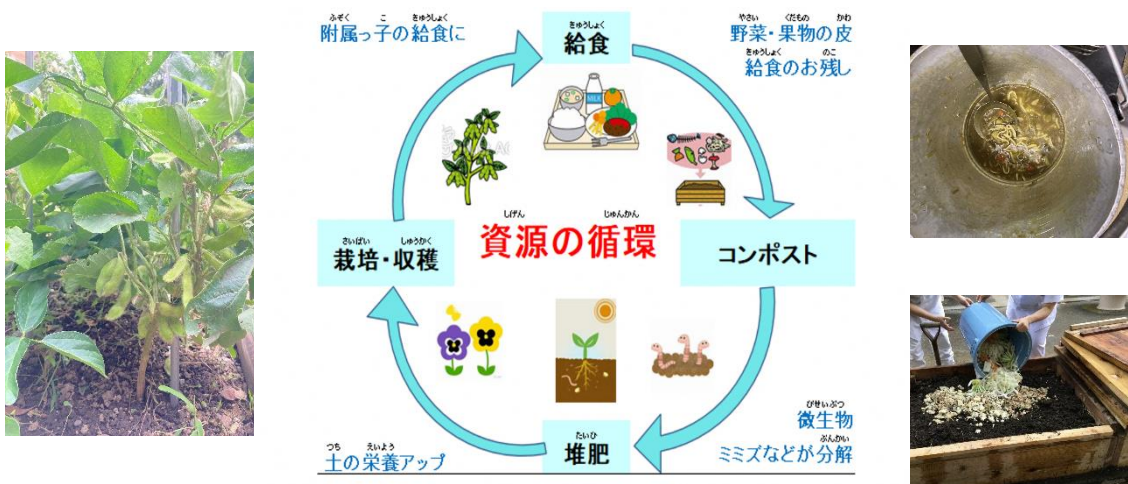


5年生社会：「農業（稲作）」の学習に合わせて、葉山の棚田米を使った葉山アイスを給食に提供しました。

■資源の循環

『コンポストで給食の調理残渣とお残しを堆肥化→できた堆肥で在来種の「田の畦豆」を3年生が栽培→「田の畦豆」を給食に使用→給食の調理残渣とお残しをコンポストで堆肥化』という資源の循環がうまれています。栽培した「田の畦豆」の内、105粒は次の3年生が種を受け継いで栽培し、残りは全校の給食でいただくために中庭で3年生が育てています。

令和2年度は、132回の給食で3,117kgのゴミを堆肥化させることができました。今までゴミだったものは、今では立派な資源です。



私立学校における環境教育の取組

| 学校名 | 鎌倉女学院中・高等学校 | 代表者 | 錦 昭江 | 担当者 | 竹内 歩 |
|--|-------------|-----|------|-----|------|
| 取組状況 | | | | | |
| 中 3 | | | | | |
| <p>「環境」という授業を1年間行い、環境問題について調べ、次のようなテーマでレポートにまとめ、発表してもらいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品ロス ・ 海洋プラスチック汚染 ・ 地球温暖化 等 | | | | | |
| 高 2 | | | | | |
| <p>沖縄の自然や環境問題について学びました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や書籍、インターネットで沖縄の環境問題について学びました。 ・ サトウキビを用いた新エネルギー、サンゴなどをめぐる海洋環境問題、沖縄の固有種を取り巻く環境問題、観光と環境保護の両立などの多様なテーマを生徒が設定し、調べを進めレポート作成を行いました。 | | | | | |
| 高 3 | | | | | |
| <p>英会話の授業の中で、4技能を使いながら、プレゼンテーションするプロジェクトの中に環境問題を取り上げ、ディベートをするグループがありました。</p> | | | | | |

事業者による環境教育・啓発活動の実施

- ・節電や省エネ関係のポスターやビラ（行政や上部団体の作成したもの）を駅や社内に掲示し、お客様や社員の意識向上を図っている。【湘南モノレール株式会社】
- ・学校教育支援活動として、出張授業を実施。令和2年度の鎌倉市内では、小学校2クラス、中学校2クラスを実施。【東京ガス株式会社】
- ・太陽光発電、風力発電モデルを使った子ども環境教室への協力を実施。【東京電力パワーグリッド株式会社】
- ・LED照明の環境貢献（省エネ性）について、出張講習を実施。（小学校でのLED工作教室実施など）【三菱電機照明株式会社】
- ・地球環境の維持、森林資源の保全、生活の向上（健康・快適・経済）に繋がる省エネ住宅に関する講義、省エネ性・快適性を体感するモデルハウスの見学会を実施。【株式会社イソダ】

環境教育を実践できる人材の育成と活用

環境教育や環境保全活動等の推進における指導者や教職員の育成や資質の向上に努めるとともに、指導者を地域の環境学習会等に派遣するなど、地域や学校の取り組みを支援します。

| 主な事業 | 事業内容 | 実績 |
|------------------------------|--|---|
| 緑のレンジャー（ジュニア）の育成 【みどり公園課】 | 自然の生き物や草花とふれあうことで自然に対する意識の高い緑のレンジャー（ジュニア）を育成します。 | 新型コロナウイルス感染症に伴う影響により開催しなかった。 |
| 緑のレンジャー（シニア）の育成 【みどり公園課】 | 市民との連携推進の一環として、豊かな兵陵の樹林地を管理する緑のレンジャー（シニア）を育成します。 | 新型コロナウイルス感染症に伴う影響により開催しなかった。 |
| アドバイザーの派遣 【環境政策課】 | 環境教育アドバイザー派遣制度により、環境に関する専門的な知識や経験を有する、アドバイザーを派遣し出前授業を行います。 | 講習会等に 38 回、214 人のアドバイザー及び補助者を派遣。 受講者数延べ 2,498 名 |
| 学校職員の環境教育 【教育センター】 | 学校職員が環境に関する知識や技術を習得するため、環境教育の研修会を開催します。 | 鎌倉市初任者研修会 テーマ「自然体験から人間の感性を育てる」 講師 五感教育研究所 高橋 良寿 氏 日時：8月20日(木) 会場：教育支援教室ひだまり1階会議室 参加者：8名 |

第2節 環境教育をする場、素材の整備

環境保全活動や自主的な環境学習活動を促進していくために、水辺、緑地といった、環境学習フィールドとして適した場所についての地域づくりを推進します。

| 主な事業 | 事業内容 | 実績 |
|------------------------|---|---|
| 緑地の整備促進 【みどり公園課】 | 自然環境の保全、活用を基調に、健康づくり、ふれあいや憩いの場づくりとして、緑地を整備・充実します。 | 社会資本総合整備計画に基づき、グリーンインフラ活用型都市構築支援事業を実施。山ノ内宮下小路緑地は、令和元年(2019年)12月2日に都市計画が決定され、整備を実施中。 山崎・台峯緑地については、風致公園拡大区域部分は整備を実施中。都市緑地部分は令和元年(2019年)7月26日に都市計画事業認可を受け、用地取得を実施中。 確保緑地の適正整備事業(常盤山特別緑地保全地区)を2回実施。 |
| 公園の整備促進 【みどり公園課】 | 自然とのふれあいのできる場づくりとして、都市公園の整備を行います。 | 同上 |
| ハイキングコースの維持管理 【観光課】 | 市民、観光客が豊かな自然に親しむことのできるハイキングコースの維持管理を引き続き行います。 | 市民及び観光客が利用しているハイキングコースについて、安全で快適な状態に保たれるようにパトロールを実施しました。また、令和2年度(2020年度)は、主として転落防止柵の設置や倒木の処理を実施しました。 |
| ビオトープ等の整備 【環境保全課】 | 市庁舎前に整備したビオトープにおける生物の自然な生息を維持し、自然観察の場を提供します。 | 平成13年(2001年)に隣接する御成小学校の児童とともに市庁舎前の池をビオトープとして整備し、来庁する市民等が身近に自然観察を行える場として維持管理を実施。令和2年度(2020年度)は実績なし。 |
| 鎌倉の環境保全の解説 【環境保全課】 | 希望者に鎌倉の環境保全についての解説を実施します。 | 令和2年度(2020年度)は実績なし。 |
| 日本遺産事業 日本遺産いざ鎌倉協議会 | 日本遺産の情報発信、普及啓発等のため、事業を行ないます。 | 平成28年(2016年)4月に認定された日本遺産のストーリーを通じて、魅力発信等の取組を進めた。 |

環境教育をする場、素材の整備におけるその他取り組み

●生涯学習ガイドブック

＜生涯学習課＞

毎年発行している「生涯学習ガイドブック」には、様々な分野の生涯学習の指導者、学習グループ・サークル、生涯学習施設などを掲載しており、自然や環境の分野に関わりのある指導者、グループについても紹介しています。

●教育資料の刊行

＜教育センター＞

学校における学習資料など、環境分野の教材の充実に努めています。小学校3・4年生社会科学習資料「かまくら」や中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」、中学校理科学習資料「鎌倉の自然」において、市の環境政策の概要や市内に生息する動植物・地質などについて紹介しています。

●環境に関する図書館資料の充実

＜中央図書館＞

鎌倉市図書館には、環境をテーマとした資料が3,908点(図書3,654点、雑誌127点、AV資料127点)(令和3年(2021年)3月現在)あり、市民の環境学習を支援しています。

第3節 環境教育に関する情報提供

「ライフステージに応じた環境教育の実施」、「環境教育を実践できる人材の育成と活用」、「環境教育をする場、素材の整備」の施策を充実させるため、環境教育に関する情報提供を行います。

● 広報かまくら

< 広報課 >

市の情報提供媒体として、原則毎月1回発行している広報紙「広報かまくら」があります。主な環境教育関連記事として、再生可能エネルギー・省エネ機器等設置に補助金、クリーンアップかまくら開催、光化学スモッグへの注意喚起、深夜花火の禁止、ライトダウンキャンペーンの呼びかけ、生ごみ処理機直接販売、環境調査の結果、こちら環境通信局（連載）、廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例への意見募集、ごみの持ち込み事前予約制、環境ポスター募集、食品ロス、環境関連イベントの告知などを掲載しました。

● 鎌倉ごみ減量通信

< ごみ減量対策課 >

鎌倉市のごみ減量・資源化施策を紹介する鎌倉ごみ減量通信通常号を1回発行しました。

● J:COM 湘南・神奈川

< 広報課 >

ケーブルテレビ「J:COM 湘南・神奈川」の「鎌倉市からのお知らせ」として、毎月1日～15日、16日～その月の末日の各約15日を1サイクルとして1日4回、週28回の放映を行い、市の環境政策などのさまざまな情報について紹介しています。

● かまくらFM

< 広報課 >

かまくらFMの市政情報番組「かまくらじお」でも、市の環境政策などのさまざまな情報について放送しています。放送は月曜日～金曜日は1日6回、土・日曜日は1日2回です。

● 市ホームページ (<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>)

< 広報課 >

インターネットを活用し、環境関連などさまざまな情報を発信しています。従来、紙媒体で提供していた情報から電子情報への切り替えによる紙資源の節減などを通じて循環型社会の形成に役立っています。

また、生活環境のページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/index.html>)では、「鎌倉市の環境政策」、「環境調査データ集」などのデータのほか、その時々環境トピックスも掲載しています。あわせて環境計画のページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/kankyouseisaku/kankyoukeikaku/index.html>)では、「かまくら環境白書」などの各計画について掲載しています。

なお、ごみ・リサイクルのページ(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/gomi/index.html>)でも、「資源物とごみの分け方・出し方」などを掲載し、循環型社会の形成に向けて情報を公開しています。

●facebook ページ（鎌倉市役所日記）

(<https://www.facebook.com/kamakuracity.hisyokoho>)

<広報課>

主に行政情報をお知らせしている鎌倉市役所日記は、省エネに関する講座、市内の清掃・環境保全活動なども掲載しています。鎌倉市役所日記自体の更新頻度は、市役所開庁日であれば数日に1回程度ですが、環境に関する催し物の開催日時等によって、随時更新しています。

●twitter（鎌倉市インフォメーション）(https://twitter.com/kamakura_koho)

<広報課>

市ホームページのトップページにある「お知らせ」欄や広報かまくらに掲載された情報を、鎌倉市インフォメーションのtwitterにも掲載しています。twitterには掲載できる文字数に限りがあるので、市ホームページのアドレスを掲載し、詳細は各ページで確認できるようにしています。

●Youtube (<https://www.youtube.com/user/KamakuraOfficial>)

<広報課>

J:COM 湘南・神奈川で放送した市政情報番組「鎌倉市からのお知らせ」や市長記者会見などを掲載しています。

●市公式LINE

<広報課>

Bot 機能を搭載したごみに関する市の別アカウント「鎌倉ごみ調べ」と連携し、ごみの出し方などについて情報発信しています。

●暮らしのガイドブック

<広報課>

暮らしのガイドブックは市役所の窓口などの行政情報や日常生活に役立つよう作成された冊子で、中ほどにある特集ページでは、ごみ減量への取り組みを掲載し、特集ページに続いて行政ページでは、資源物の収集方法や生ごみ処理機の助成制度などを掲載しています。

■各主体との連携

●環境保全団体活動に対する支援

〈環境保全課〉

市では、市内の環境保全団体の自発的な活動を促進するための支援策として、環境保全に関する学習会等を行う場合に講師を派遣する助成のほか、活動における通信費の負担を軽くし、より多くの環境保全情報を提供するため、環境保全団体の会員の方への会報などを郵送する通信助成を行っています。さらに、環境保全団体を実施する催しについての後援も行っています。後援の内容は、後援名義の使用承認、催しの施設提供、「広報かまくら」への掲載及び必要な電話の取次ぎなどです。なお、これまでの実施状況は表9-3のとおりです。

表9-3 環境保全団体に対する支援の実施状況

| 年度 | 通信助成 | | 講師派遣助成 | | 後援 | |
|--------|------|------|--------|------|-----|------|
| | 団体数 | 支援実績 | 団体数 | 支援実績 | 団体数 | 支援実績 |
| 平成29年度 | 2 | 202通 | — | — | 3 | 1回 |
| 平成30年度 | 2 | 121通 | — | — | 6 | 6回 |
| 令和元年度 | 1 | 74通 | — | — | 6 | 7回 |
| 令和2年度 | 1 | 50通 | — | — | 1 | 1回 |

●市内環境保全団体等の活動状況

〈市民・事業者〉

市内には、自然保護、美化、環境教育など環境保全に関する様々な活動を行っている市民団体があります。

これらの団体から令和2年度(2020年度)の活動内容を報告してもらい、原文のまま掲載しました。

| | | | | | |
|--|--|-----|------|-----|------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 鎌倉ガイド協会 | 会員数 | 129名 | 代表者 | 会長 高橋健治 |
| 活動目的 | 鎌倉ガイド協会は、鎌倉及び鎌倉周辺を訪れる人々や在住者に、史跡、文化財等の案内、解説をし、理解していただくことにより地域の魅力を伝え、観光の振興、文化の普及、社会教育及びまちづくりの推進に寄与することを目的として活動しています。 | | | | |
| <p>【活動の内容】</p> <p>* 史跡案内</p> <p>当協会は、協会が独自に企画して案内する「史跡めぐりガイド」、鎌倉近辺の観光ガイドを希望される方を対象として実施する「一般ガイド」、小中学校や旅行会社からの依頼により案内する「総務ガイド」を行っています。</p> <p>【活動の成果】</p> <p>平成31年度は特別に2月から3月にかけて新型コロナウイルスの影響を受けて催行中止が続きましたが「史跡めぐりガイド」は8,422名、「一般ガイド」は2,117名、「総務ガイド」は9,678名、合計では20,217名の方々のご案内をしました。</p> <p>当協会では、毎年会員を対象とした研修会を毎月開催して、史跡や自然を学び、歴史的遺産や自然環境の保全、美しい街づくりなど環境の保全・啓発に努めています。</p> <p>又、当協会は、鎌倉を訪れ、鎌倉観光をされる人々に古都鎌倉の良さや自然環境の大切さを伝えています。そのために、「ごみ」の持ち帰り、植物を大切にす、周囲の環境を壊さないようにする等の啓発を行っています。併せてガイドコース下見時にはガイド数名がトングを持参して、道路・寺社境内のゴミ拾いを積極的に行っています。また鎌倉市、その他が主催する清掃活動への参加、植樹の協力、散策路の整備、歩行中の人や近隣の皆様、社寺等に迷惑のかからないようにするなど、環境に対する保全と啓発活動を行っています。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|--------------------------------|-----|-----|-----|-------|
| 団体名 | かまくら環境会議 | 会員数 | 20名 | 代表者 | 大道不二子 |
| 活動目的 | 自然保護、調査活動、環境啓発、環境学習支援、学習会、情報発信 | | | | |
| <p>【活動の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鎌倉市の河川維持管理協力団体として、扇川の生物・水質調査を原則として奇数月の土曜日に、水部会を中心に5回実施しました。その他、ホタルの観察会を2回（扇川 関谷川）開催しました。また、扇川の清掃及び草刈を1回行いました。 ○ 2月（令和2年）に会員7名で「かまくらよもやま話」を行い新しい会員の参加がありました。 ○ 4月と11月に神戸川環境調査を実施しました。 ○ 「会報「エコ・コミュニティ」」を2回発行しました。 ○ 関谷川の環境調査を1回実施しました。 ○ 6月26日に総会を開催し、総会終了後、これからの環境会議について話し合いました ○ 5月と12月に海岸調査を実施しました。 ○ 10月に関谷小学校環境教室に講師として参加しました。 関谷小学校とは長いお付き合いで20年位続いています。 <p>【活動の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○扇川の水質・生物データを市に提供し、共有することができました。 ○環境教育では、市民や子供達への支援をすることで、啓発の一端を担えました。 ○行政や企業、また他の市民団体との協働により、意識の共有ができました。 ○環境保全やまち美化に貢献できました。 | | | | | |

| | | | | | |
|--|--------------------------------|-----|------|-----|------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会 | 会員数 | 325名 | 代表者 | 相川明子 |
| 目的 | 鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観や多彩な動植物を保全する市民活動 | | | | |
| <p>【活動内容】</p> <p>「鎌倉中央公園」第一工区開園(1997年)以来、運営協力してきた谷戸ボランティアの会10団体の各活動を継承し、準備会議を重ね2004年4月に全面開園に合わせて行政との協働で本会を発足させました。2008年4月より特定非営利活動法人団体となりました。</p> <p>当会は7つの活動班①田んぼ班(湧き水を利用した伝統的作業の米作り)②畑班(根菜・豆・麦等を中心に、堆肥を利用した循環型の無農薬農法)③雑木林管理班(下草刈りや間伐などの雑木林の手入れなど)④農芸班(農産物・谷戸資源の加工)⑤自然遊び班(農作業の手伝いを含む子どもの自然遊び)⑥生態系保全班(動植物の観察や調査、小動物が住みやすい環境作り)⑦植物育成班(谷戸に自生する植物の保護、育成)を設け、鎌倉中央公園内の谷戸において、昔ながらの農文化を継承した手法にて、谷戸の景観と生態系を保全しています。</p> <p><年間の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7つの班により、季節に応じた保全活動を実施(270回)、うち70回は(公財)鎌倉公園協会との協働事業 ・事務局の運営(木曜を除く毎日6時間、交代制で実施)、一般市民、各種団体の問い合わせ対応・案内、行政交渉、広報活動、各メディアからの取材対応、谷戸パトロール、各班の平日補助作業等 ・谷戸まつりを開催し(年2回)、保全活動で収穫した農産物や加工品を会員・一般市民に頒布 ・会報の発行(年6回)谷戸塾開催(全45回 内訳:田んぼ・畑・雑木林管理班の作業各38回、谷戸講座7回実施)環境省主催モニタリングサイト1000里地調査・事務局員向け勉強会開催 <p><行政、公園課、公園協会との協働など></p> <p>3者協議に出席、2回の谷戸まつりは公園課後援にて開催。</p> <p><主要事業及び(公財)鎌倉公園協会との協働事業></p> <p>理事会(3回)、谷戸まつり(2回)、子ども里山体験、活動連絡会議の開催(1回/月)、「ホテルの紙芝居」とパトロール、春の七草・どんど焼き</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止対策にて7月までは一般市民参加型事業は中止、保全作業は会員による必要な作業に縮小して実施しました。8月以降は通常通りの活動を実施しました。</p> <p><体験学習の受け入れなど></p> <p>鎌倉市環境政策課・環境アドバイザーに登録し、学校との連携を深めています。毎回、事前に学校、担当者間で打合せ、実施後は担当者・体験学習スタッフ間で反省会を行い、活動記録を作成し充実化に努めています。深沢小学校5年生 特別支援教室ひだまり 富士塚小学校5年生 玉縄小4年生 風致保存会主催の中学生保全活動 オンラインにて 大船中3年生 コロナ禍にて課外学習が行えない時期は活動の様子をビデオに収めて学校に配布しました。</p> <p><他団体の受け入れなど></p> <p>自然環境復元協会主催 若手ボランティア(かまくらレンジャーズ保全活動受け入れ)・PHD研修生 谷戸体験・かまくら子育て支援グループ懇談会と共催 「サトイモとどろんこ」・青空自主保育「やんちゃお」保全活動・青空自主保育「にこにこ会」保全活動・青空自主保育「なかよし会」保全活動・神奈川県気候変動調査 ヒアリング・ステークスホルダー会議参加</p> | | | | | |

<他団体への訪問・交流・会議出席など>

標本提供(ミズオオバコ)県立博物館の植物調査グループ標本作成協力、福祉施設における飼育用生物の提供(デイ華花)、神奈川県主催 気候変動影響・適応策に関する調査協力、

かまくら子育て支援グループ懇談会月例会出席、里地里山アンケート(環境省委託調査)参加

<PR・展示活動>

NPOセンターフェスティバル参加

<取材・掲載>

鎌倉FMで毎月第2第4水曜日の朝「おはよう かまくら」にライブ出演・KCTV(年間数回)

<農産物の寄付 提供 農機具貸し出しなど>

近隣町内会、小学校、福島被災者支援活動、かまくら子育て支援グループ懇談会、第3地区社会福祉協議会、高齢者ケア施設など

| | | | | | |
|--|--------------------------------------|-----|------|-----|-------|
| 団体名 | 鎌倉自主探鳥会グループ | 会員数 | 150名 | 代表者 | 岩田 晴夫 |
| 活動目的 | 自然観察、自然保護、水質・動植物調査、環境教育、エコアップ作業、政策提言 | | | | |
| <p>【活動の内容】 新型コロナ禍のため、少人数での活動に縮小して対応しています。</p> <p>私達は、(公財)日本野鳥の会の神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティー向上を図ることを目的として活動を実施しています。</p> <p>① 一般市民対象の定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」を毎月2回実施しています。</p> <p>自然観察の精神と方法の普及、自然観察会リーダーの養成、地域的な自然保護活動の促進、都市公園と緑地のエコアップ(生息環境向上・生物多様性の保全)を図ること等が目的です。</p> <p>コースの途中、佐助川の清掃・エコアップ・水質と水生生物調査、佐助稲荷のエコアップ(1993年5月～)、源氏山公園の野鳥用水場の清掃、台峯緑地と鎌倉中央公園の動植物調査やエコアップ(1993年5月～)等の作業を実施しています。</p> <p>② 源氏山公園の野鳥誘致施設の管理(1984～)をしています。</p> <p>③ 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへの協力を委託されています(1993～)。</p> <p>④ 平成6年以降、鎌倉市から鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)指導員の委嘱を受け、鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)の活動を年間10回指導していますが、新型コロナ禍で4月以降活動を休止中です。</p> <p>⑤ 鎌倉市道水路管理課から道路・河川維持管理協力員の委嘱を受けています(1997～)。</p> <p>佐助川のエコアップ活動・水質調査・水生生物調査・清掃・草刈り等を実施しています。</p> <p>⑥ 鎌倉中央公園の管理運営協力団体として、鎌倉中央公園の管理に対し、既存の野生動植物ができるだけ保全されるように、基礎データを提供すると共に、具体的な方法を提示し、エコアップ作業と環境モニタリング調査を実施しています。</p> <p>⑦ 「鎌倉の海岸動植物の生息分布調査」をかまくら環境会議・鎌倉市緑のレンジャー指導員と協力し、鎌倉市の後援を得て実施(1996～)し、海岸動植物の保護策を提言しています。</p> <p>⑧ 神奈川県藤沢土木事務所による坂ノ下の災害復旧工事後のモニタリングを継続実施し、貴重種の保護と管理上の留意点を助言しています。</p> <p>⑨ (公財)日本野鳥の会の全国一斉ガンカモ調査に協力(1月)しています。</p> <p>⑩ 鎌倉市内を春秋に通過するタカ類の渡り調査、鎌倉市内の自然環境台帳作り、酸性雨調査、河川の水質と水生生物調査、緑地のモニタリング調査等を実施しています。</p> <p>⑪ 自然保護団体や自治会・学校関係の自然観察会等に講師を派遣しています。</p> <p>⑫ 鎌倉メダカの系統保護を図ると共に、市役所前のビオトープ池の管理・モニタリング調査に協力しています。</p> <p>⑬ 特定外来生物のアライグマとタイワンリスの鎌倉市防除実施計画に協力しています。</p> <p>⑭ 神奈川県藤沢土木事務所から河川管理協力員を委嘱されており(2001～)、神奈川県管轄の柏尾川・滑川・神戸川の護岸整備工事・維持管理等に際し、野生動植物の生息環境保全の面から助言を行なっています。</p> <p>⑮ 貴重種・重要種に指定されている野鳥の繁殖環境保全に係わる自然環境調査等を実施中です。</p> | | | | | |

【活動の成果】

鎌倉中央公園の湿性花園内に既存動植物の保全区域を維持しています。

主要緑地における環境モニタリング調査と湿地環境のエコアップ作業を継続しています。

近郊緑地保全地区や開園後の夫婦池公園等の自然環境調査結果から、神奈川県と鎌倉市の整備・維持管理に対しアドバイスし、既存の野生動植物の保全に寄与しました。

重要な植物種を保護・移植・増殖する試みも実施しています。

獣類の“離れ”個体に係る情報等をまとめ、神奈川県と鎌倉市の関係機関に提供しました。

附属小学校のビオトープ「ひょうたん池」を月一回モニタリングし、ユネスコ委員会の活動を指導すると共に、維持管理について助言しました。

国史跡・永福寺跡の苑池や梶原7号緑地の調整池等のモニタリングを実施し、維持管理について助言を行い協力しました。

鎌倉市の許可を得て、市内の保全緑地や公園等にトレイルカメラを設置し、鳥獣の生態・保護に関わる情報の収集を図り、鎌倉市に情報を提供し、維持管理に役立てて頂いております。

近年、温暖化の影響か、川の護岸や橋などの老朽化が目立つため、モニタリング結果を定期的に神奈川県藤沢土木事務所や鎌倉市へ報告しています。



▲横浜国大附属小・ユネスコ委員会の活動を指導 ひょうたん池の調査



▲常盤山で採餌中のタヌキ



▲常盤山で採餌中のノウサギ



▲鎌倉YMCAの自然観察会を指導

| | | | | | |
|------|---------------------------|-----|--------|-----|-------|
| 団体名 | 鎌倉ボランティアクラブ | 会員数 | 1,210名 | 代表者 | 岩田 昭文 |
| 活動目的 | まちの美化活動／環境出張教育／生物多様性活動の推進 | | | | |

【活動の内容】

1. まちの美化活動

三菱電機(株)鎌倉製作所及びインフォメーションシステム統括事業部、関係会社(6社)*1の有志を募り、通勤で利用している工場周辺の道路を隔週で清掃する「通い道クリーン活動」を行っています。本活動は03年度より開始し、17年度からは湘南町屋駅に「鎌倉市アダプト・プログラム」ののぼり旗を掲げて、美化活動への意識の高揚を図っています。

また、鎌倉市と藤沢市を流れる柏尾川沿いの県道304号線を、周辺企業3社*2と年1回の頻度で連携し一体となって鎌倉の環境保全に繋げる清掃活動をおこなっています。

【活動の成果】

| | | | |
|--------------|----------|----|----------|
| 1) 通い道クリーン活動 | : 2020年度 | 合計 | 1,210名参加 |
| 2) 県道沿い清掃 | : 2020年度 | 合計 | 19名参加 |

2. 環境出張教育

近隣小学校の児童に、鎌倉製作所で製造されている製品や社員一人ひとりが取り組んでいる工場の環境への取り組み、工場周辺清掃・海岸清掃の社会貢献活動などを紹介しています。

今年で13年目の活動となり、継続的に開催することで、地域の子供たちへ環境マインドの醸成を図っています。

3. 生物多様性活動の推進

緑の質の向上活動の一環として、構内に自然と触れ合える従業員のコミュニケーションと憩いの場となる休憩広場「鎌ぷらガーデン」を整備しました。当社の宇宙事業をイメージして太陽系を思わせるようなデザインとし、事業所のみどりや、そこで生活する生き物を保全する活動に取り組んでいます。



キンランの保護

【主な取り組み】

- 1) 従業員休憩広場の新設
- 2) 構内緑地の整備（梅の蜜をすいに来たメジロ）
- 3) 希少植物「キンラン」の保護



従業員休憩広場「鎌ぷらガーデン」



梅の蜜をすいに来たメジロ

*1: 関係会社

三菱電機エンジニアリング(株) 三菱プレジジョン(株) 三菱スペース・ソフトウエア(株)
 三菱電機特機システム(株) 菱電湘南エレクトロニクス(株) 菱栄テクニカ(株)

*2: 周辺企業

(株)神戸製鋼所 藤沢事業所 中外製薬(株)鎌倉研究所 (株)江ノ電バス藤沢 湘南営業所

| 団体名 | 湘南・省エネネットワーク | 会員数 | 14名 | 代表者 | 前島 仁 |
|--|--|-----|-----|-----|------|
| 活動目的 | 気候変動、地球温暖化防止および省エネルギーなどの普及啓発活動への取り組み | | | | |
| 【活動の内容】 私たちはSDGsの気候変動、エネルギー、教育など社会的な課題解決の目標に取り組みました。 | | | | | |
| (1) 気候変動：地球温暖化防止 「広く情報発信」   | 気候危機非常事態宣言 を12月に団体独自で表明しました。表明内容は、宣言・提言・行動計画の3部で構成しています。(発信先：30件) 脱炭素フォーラム を開催して、1月に気候変動政策、3月に日本の取り組みについて会員からのコメントで討議しました。(14人参加) かまくら市民活動の日フェスティバル が11月にNPOセンター大船で開催され、ポスター出展で団体の取り組み活動を紹介しました。(300人来場) 省エネメールニュース を豊富な話題提供で発信しました。(5千人回発信) | | | | |
| (2) エネルギー：省エネ・再エネ 「省エネを多くの方と共に実践」   | 省エネカレンダー を12月に制作して、毎月の省エネ目標と行動について省エネアイテムをチェックして実施するよう働きかけました。(20人参加) 豊かな自然・環境と共生して 知恵と工夫のスマートライフで湘南の四季を愉しむ環境との共生をテーマにしています。1年間分の季節の花や寺社、自然の光景などを写真、歳時記と平均気温などを参照しながら、徒然なるままに湘南の四季を省エネ俳句と共に愉しんでいただく趣向になっておりますので、多くの方々から好評をいただきました。 [参加者の声] 趣向が凝らされており、見ごたえと使いごたえもあります。 | | | | |
| (3) 健康：ライフスタイルの転換   | スマートシニアライフ：健康管理編講座 を1月に開催して、説明資料をメールで配信して、ライフスタイルの転換を呼びかけました。(51人受講) コロナ禍での外出自粛生活で在宅時間がかなり増えており、電気代の節約と健康的な生活に力点を置いて事例を豊富に、新生活様式として、食事と運動などについての日々の暮らしの過ごし方改革について紹介しました。シニアの受講者が多数参加されており、その関心がひとときわ高く、大きな反響があり、皆様は自分事のようにしてたいへん熱心に受講されておりました。 [受講者の声]暮らしをスマートに楽しむことを改めて考えるきっかけとなり、シニアがいかに日常生活を過ごすかの道標として、参考になりました。 | | | | |

| | |
|---|---|
| <p>(4) まちづくり：環境共生社会</p>  | <p>環境共生のまちづくり講座を11月に開催して、説明資料をメールで配信して、鎌倉のまちづくり<現在・過去・未来>を紹介しました。(22人受講)</p> <p>私たちがくらす鎌倉の持続的発展をめざして、環境共生と安全・安心なまちづくりについて身近な事例で説明しました。</p> <p>[受講者の声] 格調高いまちづくりで日本での先端レベルの活動で凄いです。</p> |
| <p>(5) パートナーシップ：連携</p>  | <p>SDGs への取り組み講座を3月に開催して、説明資料をメールで配信して、SDGs の目標達成を目指した取り組みについて紹介しました。(42人受講)</p> <p>気候、エネルギー、教育、健康、まちづくり、連携の6ゴールを取り上げて、SDGs の自分事化について受講者と共に何ができるかを考えてみました。</p> <p>[受講者の声] 非常に興味があるテーマですので、これから自分事化します。</p> |
| <p>[受賞実績]</p>  | <p>「かながわ地球環境賞」を神奈川県知事から3月に受賞しました。(2回目)</p> <p>神奈川県主催の表彰制度で、地球環境保全活動部門に応募した「環境共生社会に向けたSDGs への取り組み」に対する活動が格別に高く評価されました。</p> |
| <p>【活動成果】 自らの成果を広く紹介</p> <p>展示会等のイベントへの出展：1回、来場者：約300人 メールニュースの発信：365回、閲覧者：約5千人回 講座・フォーラムの開催：5回、受講・参加者：143人 政策提言・パブリックコメントへの応募：6回、21件</p> | <p>【今後の取り組み】 SDGs への取り組みを展開</p> <p>わたしたちの活動は小さな歩みで少しずつ発展し、地域からまちづくり、社会へと進化してきています。</p> <p>SDGs への取組みを継続して地域の未来社会に貢献できるように、今後も一層の活動を展開していきます。</p> |

| | | | | | |
|--|--------------------------------------|-----|-------|-----|------|
| 団体名 | N P O 法人鎌倉リサイクル推進会議 | 会員数 | 113 名 | 代表者 | 高井幸恵 |
| 活動目的 | ごみ発生抑制、減量や資源化の市民意識の啓発、廃棄物の再利用促進活動を推進 | | | | |
| <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆かわら版の発行（行事予定とその内容の案内）毎月発行 ◆ホームページの毎月更新 ◆鎌倉市の市民啓発活動への協働参加（コロナ対策のため実施せず） ◆リサイクルに関する相談アドバイス等 <p>○展示部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆常設展示（通年） ◆リサイクル作品展（コロナ対策のため実施せず） ◆鎌倉駅地下道ギャラリー展示（コロナ対策のため実施せず） ◆クリスマス展示 11月～12月、ひな飾り 2月～3月 ◆年末年始展示 12月～1月 <p>○環境部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆鎌倉リサイクル通信「ラ・ラ・ラ」（会の活動紹介）30号（年1回発行） ◆情報シート No63号発行（リサイクルに役立つ情報提供）年1回発行 ◆学習会「気候変動について考えよう」、「食品ロス」 講師は鎌倉市環境部環境政策課職員の方 ◆施設見学会（コロナ対策のため実施せず） <p>○イベント部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆リサイクルマーケット（コロナ対策のため実施せず） ◆こどもリサイクルマーケット（コロナ対策のため実施せず） ◆古着古本リサイクル市（コロナ対策のため実施せず） <p>○生活の知恵部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全 187 教室を開催 ・生ごみ減量教室（動画） 8回 ・修理修繕教室 7回 ・リサイクル手芸教室 41回 ・衣類リフォーム教室 23回 ・衣類お直し教室 8回 ・リサイクル工作教室 17回 ・その他の教室 12回 ・その他の教室（動画） 12回 <p>（活動内容は鎌倉市からの受託事業と自主事業を合計したものです）</p> <p>[活動の成果]</p> <p>事業実績は受託 75 回・451 人、自主事業 37 回、159 人、併せて 112 回の事業を実施し、参加人数は延べ 610 人でした</p> | | | | | |

[特記事項：不用品登録協働事業（愛称：リユースネットかまくら）]

本会とNPO法人シチズンネット・鎌倉市の三者による協働事業。
市民の「譲ります」「譲って下さい」の情報をインターネットに公開。
その橋渡しの活動。

登録申し込み 826 件 ・ 応募 674 件 ・ 成立 634 件

● 古着古本などのリサイクル

コロナ対策のため、実施できませんでした。

表 リサイクルマーケット等の開催状況

| イベント名 | 実施日 | 実施内容 | 来場者数 |
|--------------------------|-----|------|------|
| リサイクルマーケット・こどもリサイクルマーケット | - | - | - |
| 古着古本リサイクル市 | - | - | - |

| | | | | | |
|---|---------------------------|-----|-----|-----|--------|
| 団体名 | 鎌倉のごみ減量をすすめる会 | 会員数 | 10名 | 代表者 | 臼田 宗太郎 |
| 活動目的 | 行政・事業者・市民の協働で鎌倉のごみ減量をすすめる | | | | |
| <p>【活動内容】</p> <p>新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言のため多くの予定が活動中止になり、次年度に持ち越しとなりました。</p> <p>1. 会員拡大 次年度に持ち越し</p> <p>2. プラごみゼロ宣言への協力</p> <p> (1) 鎌倉エコスポット登録拡大 北鎌倉・大船地区を重点に登録推進</p> <p> (2) ステッカー作成のデザイン協力</p> <p> (3) その他 次年度に持ち越し</p> <p>3. 啓発事業</p> <p> ● 分かりやすい分別表の作成を検討 回収及び分別作業の安全を確保するための啓発を考えました。 分別に難しいもの（素材、複合品）の見分け方 市外からの転入者にわかりにくい点を解説</p> <p> ● くじら模型製作 11月17日に試作を完了しました。</p> <p> ● 潜水調査 由比ガ浜の海底ごみを撮影後、啓発ビデオを作製しました。 海底ごみは持ち帰り分別して展示用に整理しました。</p> <p> ● その他 次年度に持ち越し</p> <p>4. 鎌人いち場への出展 次年度に持ち越し</p> <p>5. 工場見学の実施 次年度に持ち越し</p> <p>6. 学習会の開催 次年度に持ち越し</p> <p>7. ホームページの更新 運営委員会あるいはイベントの直後に更新しました。鎌倉エコスポット地図については随時更新を原則としています。ただし、公共施設については種類ごとにまとめて対応しています。 (実績) 5/15, 11/18, 12/31, 3/31に改訂しました。</p> <p>8. NPOフェスティバルへの出展 次年度に持ち越し</p> | | | | | |

| | | | | |
|-----------|-------------------------|-----|----|------|
| 鎌倉を美しくする会 | 会員数 | 17名 | 代表 | 高田晶子 |
| 活動目的 | 2020年度 落書きゼロとまち美化のまちづくり | | | |

活動の内容動の内容

落書きゼロを維持するために、通年のパトロールと消去活動、記録に時間を割いています。落書きは早期発見・早期消去に尽きます。2009年からスタートした鎌倉市との協働事業から落書き消去活動を数値化したことにより、その成果が把握しやすくなりました。またこの活動はサポーターからの情報提供に負うところも大きく、ボランティア参加のありかたの良い事例と言えます。

1 落書きゼロの活動

1.1 2009年度から2020年度までの活動記録（資料1）

年間400件から600件を推移していた落書き件数は、2019年度初めて282件に、2020年度も287件と200件台に減少しました。落書き件数には見過ごしがちなこぶし大の貼り紙も含まれていることを考えれば、活動の成果があったと言えるでしょう。

落書きは多い順から鎌倉地区、腰越地区、大船地区、深沢地区、玉縄地区の順になっています。当初は鎌倉地区、腰越地区の順、現在では鎌倉地区、大船地区の順になり、腰越地区の落書きが減りました。腰越海岸の擁護壁とその周辺、七里が浜東コンビニ周辺の落書きが減ったことが寄与しています。

落書きゼロは景観の質を高め、防犯にも役立ちます。快適なまちを維持するために、無理なく参加出来る人の広がりを期待しています。

| 資料1 | 鎌倉 | 腰越 | 深沢 | 大船 | 玉縄 | 合計 |
|-------------|------|------|-----|------|-----|------|
| 2009年度(H21) | 262 | 113 | 9 | 95 | 21 | 500 |
| 2010年度(H22) | 270 | 74 | 13 | 38 | 22 | 417 |
| 2011年度(H23) | 215 | 259 | 12 | 165 | 28 | 679 |
| 2012年度(H24) | 227 | 182 | 23 | 140 | 30 | 602 |
| 2013年度(H25) | 227 | 71 | 16 | 105 | 13 | 432 |
| 2014年度(H26) | 477 | 32 | 30 | 53 | 1 | 593 |
| 2015年度(H27) | 485 | 23 | 41 | 41 | 37 | 627 |
| 2016年度(H28) | 469 | 88 | 6 | 72 | 11 | 646 |
| 2017年度(H29) | 234 | 80 | 15 | 42 | 17 | 388 |
| 2018年度(H30) | 226 | 81 | 41 | 33 | 0 | 381 |
| 2019年度(令和1) | 167 | 32 | 1 | 80 | 2 | 282 |
| 2020年度(令和2) | 143 | 11 | 22 | 100 | 11 | 287 |
| 地区別合計 | 3402 | 1046 | 229 | 964 | 193 | 5834 |
| % | 58.8 | 18.7 | 3.8 | 15.6 | 3.3 | 100 |

資料作成:キブ鎌倉川ノ推進会議

1.2 2020年度の活動報告（資料2）

- 5月、長谷大仏通りの交通標識支柱を狙ったこぶし大・人面印刷の貼り紙を発見し、周辺をたどると長谷観音通り、江ノ電長谷駅周辺至るまで続いていました。初めて見る貼り紙で、26枚もありました。結果を地図に記し、鎌倉警察に提供しました。接着力が強く剥がすのが大変でしたが、これ以後、この貼り紙を目にしたことはありません。
- 12月から1月にかけて、材木座6丁目和賀江島に至る周辺や国道134号線下の1号橋、2号橋周辺に落書きが頻発。藤沢土木事務所道路維持課、サポーター、当会で対処しゼロにしました。

- 1月、大船駅東口側一帯に貼り紙が大量貼られたものの、気づきが早く処理できました。
- 下記資料2の落書き等については、すべて処理済みです。
- 最近、手書きまたは印刷した貼り紙が増えています。

資料2 ■2020(令和2)年度[落書き・貼り紙一覧表]

| 月 | 落書き形態 | | 貼り紙形態 | | 月合計 |
|-----|-------|---|-------|-----|-----|
| | タグ | 絵 | 手書き | 印刷 | |
| 4月 | 10 | 0 | 1 | 7 | 18 |
| 5月 | 17 | 0 | 2 | 27 | 46 |
| 6月 | 2 | 0 | 5 | 5 | 12 |
| 7月 | 4 | 0 | 4 | 4 | 12 |
| 8月 | 4 | 0 | 1 | 1 | 6 |
| 9月 | 3 | 0 | 9 | 11 | 23 |
| 10月 | 2 | 0 | 5 | 7 | 14 |
| 11月 | 4 | 0 | 11 | 2 | 17 |
| 12月 | 11 | 0 | 1 | 5 | 17 |
| 1月 | 23 | 0 | 13 | 33 | 69 |
| 2月 | 2 | 0 | 3 | 12 | 17 |
| 3月 | 16 | 0 | 1 | 19 | 36 |
| 累計 | 98 | 0 | 56 | 133 | 287 |
| 合計 | 98 | | 189 | | |
| 総合計 | 287 | | | | |

資料作成 キーフ鎌倉クリーン推進会議

2 まち美化活動の成果

2.1 本覚寺内寺社駐車場と東急ストア駐車場の美化活動

2020年6月、若宮大路に隣接の扇川を渡った場所にある本覚寺内(小町1-12)寺社駐車場で散乱ごみと、借地の東急ストア駐輪・駐車場の放置自転車が常態化していることに気づき、改善できないかと関係者に問題を提起し解決しました。

- 本覚寺 ベンチはかなり傷んでおり考えていたとお話。その後撤去されました。ベンチ周辺の空き缶類、夥しい吸い殻の投げ捨て問題は一挙解決したものの、憩いの場所になっていた人にとっては残念な結果になりました。
- 東急ストア 駐輪・駐車場に監視員を配置。警察立ち会いのもと放置自転車を処分。不法な自転車の放置ができなくなりました。
- 鎌倉市下水道河川課 川面を覆っていた扇川護岸の雑木など取り払いスッキリ。川の流れて目視できるようになりました。



2.2 城廻トンネル内と周辺の清掃

3月定例会の後、人家がなく移動する車からの投げ捨てが多発するトンネル内の清掃をし、30L袋3個分のごみを集め分別して、県道管理の藤沢土木事務所に処理をお願いしました。